

# 自然の魅力満載

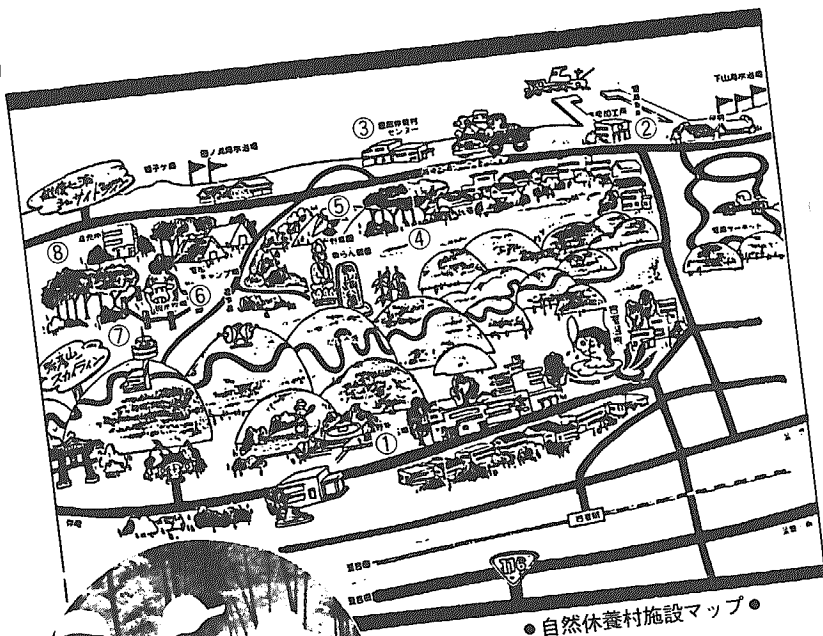
# 自然休養村からの

## 管理センター白岩

いよいよ本格的な海のシーズン。雄大な日本海と手にとれるほど大きな夕日を目の前に見ることのできる管理センター白岩。越後七浦シーサイドライン沿いの間瀬・高屋地区に自然休養村の総合管理センターとして昭和50年オープン。館内にはみやげもの売場や研修室・食堂・シャワー設備もあり、海水浴後のくつろぎの場としても好評です。また、ここを基点とする弥彦浦遊歩道で景勝白岩めぐり、田ノ浦駐車場までの1キロのミニ散歩コースも日本海とじかにふれあい最高…。

## 野菜園

一般の方にはちょっと知られていませんが、保育園児に大好評なのがこの野菜園(たけのご園、ほりとり園)——間瀬地区に多い竹林を利用した児童農園です。間瀬・海雲寺山に開園していますが、まだ整備が進んでいないため保育園児らに限って体験農園、としてオープンしています。一方ほりとり園は海から急にせり上がった斜面の羽入地内にあります。広報でも紹介したことがありますが、さつまいもを中心とした野菜園です。残念ながら現在、地区の農家の人から借りてやっていますので、みなさんに開放…とまではいきませんが、将来はだれでも来園できる体験農園に——。



●自然休養村施設マップ●



いっぱい取れたよ。保育園児に大人気のたけのご園。

## 自然休養村施設

- ① 丸小山野外緑地広場(岩室)
- ② 農林水産物処理加工所(間瀬港)
- ③ 管理センター白岩(間瀬)
- ④ たけのご園(間瀬)
- ⑤ ほりとり園(間瀬)
- ⑥ 崖松キャンプ場(間瀬)
- ⑦ 観光牧場(間瀬)
- ⑧ 農林水産物直食・直売所(間瀬)

## 観光牧場

越後七浦シーサイドラインの野積ゲート近くの米水ヶ浦にある観光牧場——乳牛が放牧され、車で通る人の目を楽しませてくれます。山の傾斜を利用した立体牧場で育つ乳牛は、足・腰の強い立派な体格づくりに最適といわれます。牧場と併設してある農林水産物直食直売所(牛ちゃん)には、ポリウム満点の牛肉の鉄板焼きをメインに、舌つづみを打つ肉料理がいっぱい、私たちを楽しませてくれます。また、すぐ前の日本海で海水浴もでき、駐車場完備とあって絶好のレジャーゾーンとして好評です。

# 自然との一体感：最高だネ。



後藤 清さん (岩室・65歳)

昔から歩くのが好きでしてネ、この丸小山公園も、オープンしてすぐ孫と歩いたんです。以来、すっかりこの公園にとりつかれちゃつてもう何回も……。

緑のジュータンを敷きつめたような緑地広場、ゲートボールやソフトボールなど利用度の高い運動広場、避暑地の雰囲気のあるテニスコート、そして林間をぬように設置された遊歩道。「ああ、わたしの住む岩室村にも、こんないい所があったのか」と、歩くたびに目を覚される思いがします。地元にいながら、このよさを知らない人は、本当に気の毒。

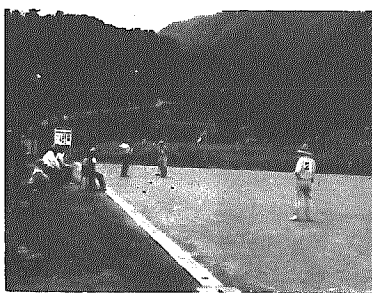
お金はかからないし、体にはいいし、子どもからお年寄りまで自由に乗れる…最高に素晴らしいことだと思いますよ。それこそ自然と一体って感じで……。

## 丸小山野外緑地広場

自然休養村事業のなかでは、みなさんに最も親しまれ、知られているのがこの丸小山野外緑地広場(運動広場・テニスコート・芝公園・梅林・自然植物園・遊歩道)。通称「丸小山公園」と呼ばれています。

休日ともなると七千二百平方メートルの芝公園に家族連れ、運動広場にはゲートボールを楽しむお年寄り、そしてミニ軽井沢の雰囲気を感じられるテニスコートには自然ファンご用達の若者——

満ぱいの盛況さ…。さわやかカッパルから家族連れ、お年寄りまでオールマイティに楽しめる身近な憩いの場として好評です。



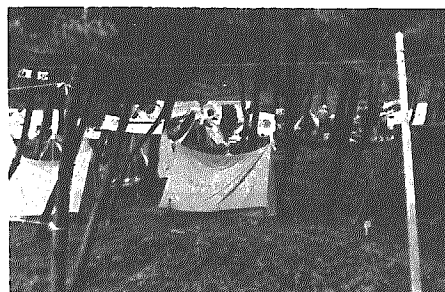
のびのびプレイ(運動広場)

## 崖松キャンプ場

身近なキャンプ場として昨年三百九十団体二千九百二十八人あまりの人がキャンプに訪れ、大変好評を得ている崖松キャンプ場。

越後七浦シーサイドラインのなかでもっとも見はらしのよい崖松にあり、昼間は眼下に日本海や佐渡が島の雄大な景色が見られ、夜になればきれいな星空と情緒ある漁り火が神秘的に輝き、そのながめはとても素晴らしいものです。

もちろん野営場は、テント、



すぐ目の前には日本海が広がる。BGMは波の音(野営場)

毛布、燃料、水洗トイレ、シャワー室など各施設が完備されていて、十分楽しめること、うけあいで。

昭和48年度から6年計画、総事業費約6億円でスタートし、53年度終了した自然休養村事業。この間、丸小山緑地広場や崖松キャンプ場、観光牧場など自然を生かした数々のユニークな事業が進められてきました。

岩室村自然休養村のガイドブックには、「緑と太陽と海——なつかしい自然との出会いがここにある。自然休養村——それは、生地の自然に人間の知恵と手を加え、美しく調和させたヴァカンス村…」とコピーがあります。

今月はこの自然の魅力満載した「自然休養村」から、すてきなメッセージが届きました。これから夏に向かって、楽しい行事や計画が多いことと思います。この夏、自然休養村ですばらしい体験をあなたもしてみませんか…。

■自然休養村——昭和四十六年七月、農林水産省の主管で始まった事業。全国で現在約二百カ所が指定されています。目的は農漁村の自然保護と都市生活者に健全なレクリエーションの場を提供して、天然資源の多目的な活用と、合わせて農漁民に就業の機会を与えることをねらいとして定まりました。